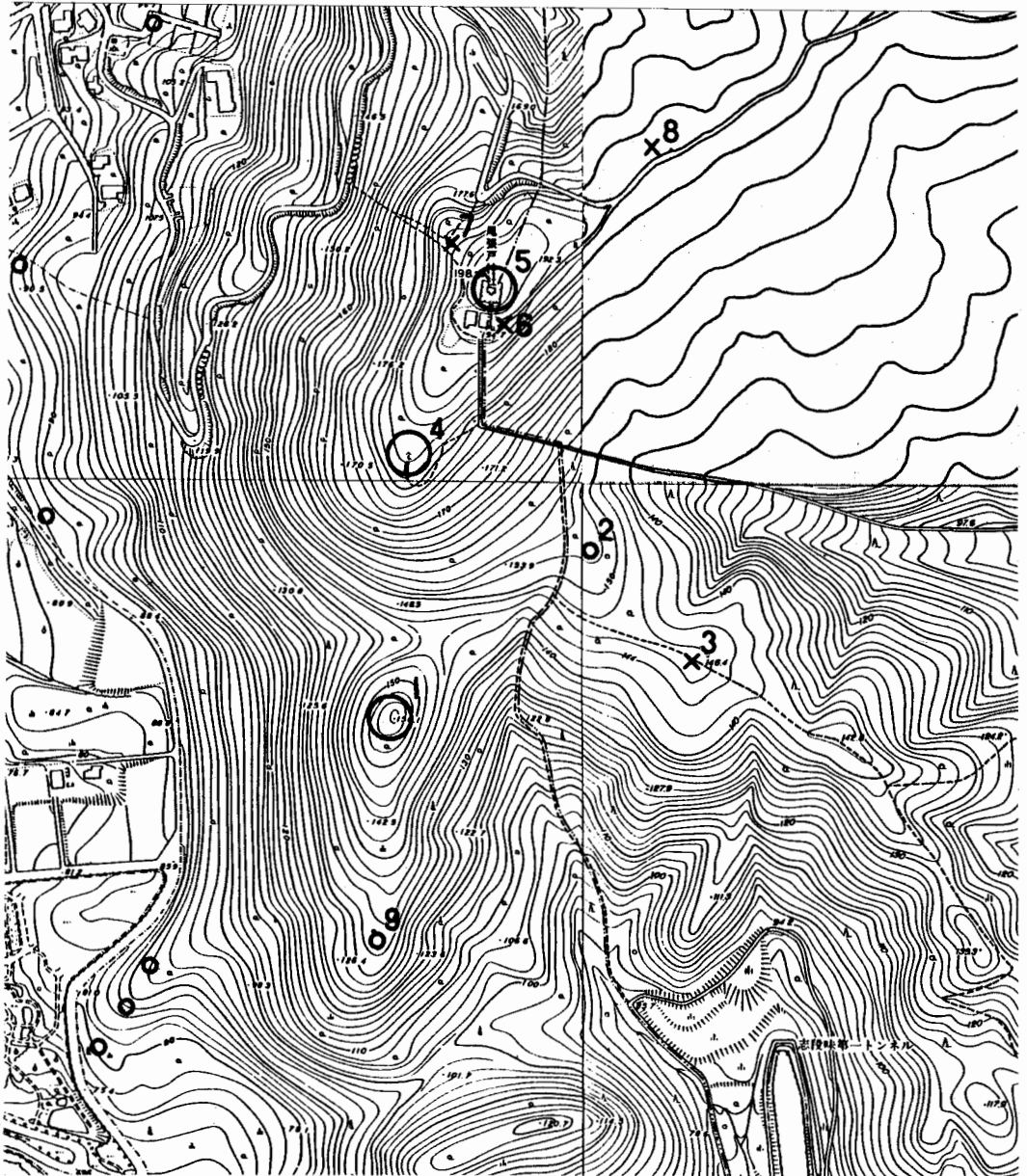


東谷山峰の遺跡



1. 南社古墳 2. 東谷山南古墳 3. 火釜遺跡 4. 中社古墳 5. 尾張戸神社古墳
6. 尾張戸神社遺物散布地 7. 東谷山中世墓 8. 東谷山山頂遺跡 9. 東谷山第34号墳

東谷山山峰の遺跡分布地図 (縮尺1/5,000)

1. 南社古墳

○円墳（直径33.5m 高さ4.5m）。

○拳大の河原石の葺石。

○土師質円筒埴輪・朝顔形埴輪。

☞守山市教育委員会1963『守山の古墳』。名古屋博物館1984『守山の遺跡と遺物』。



2. 東谷山南古墳（瀬戸市十軒町）

○円墳。

☞『愛知県遺跡分布地図』。

3. 火釜遺跡（瀬戸市十軒町）

○『愛知県遺跡分布地図』では、遺跡の種別は住居跡とされ、弥生土器と石器が出土しているという。

○宮石宗弘氏によれば、瀬戸市側の尾張戸神社氏子によって、倒木の跡から遺物が採集されたとのことで、中には土師質円筒埴輪片も含まれている。

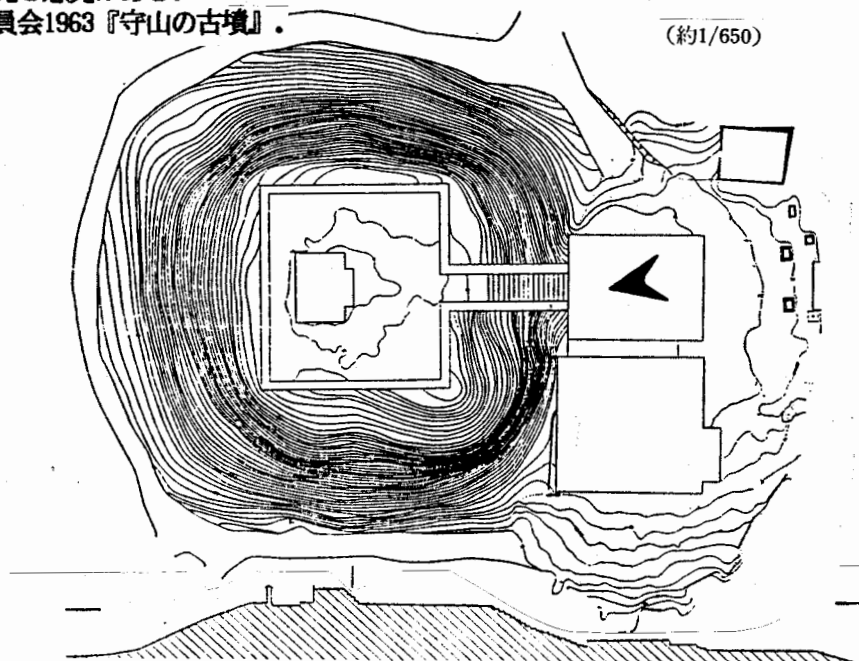
4. 中社古墳

- 円墳（直径28m・高さ3m）。
- 人頭大の河原石の葺石、白色珪石の割石あり。
- 土師質円筒埴輪・家形埴輪
- ※前方後円墳と見る意見あり。
- ☞守山市教育委員会1963『守山の古墳』。



5. 尾張戸神社古墳

- 円墳（直径34m・高さ3m）。
- 人頭大の河原石の葺石。
- 時期は未確認だが、戦前、本殿の後ろで盗掘されたことがあり、石室の天井石と見られる大きく平らな石に当たって断念された模様。（小栗鉄次郎氏の写真帳による。）
- ※前方後円墳と見る意見がある。
- ☞守山市教育委員会1963『守山の古墳』。



6. 尾張戸神社遺物散布地

○山茶碗など、中世陶器片が散布。

7. 東谷山中世墓

☞新聞記事。名古屋市博物館1984『守山の遺跡と遺物』。

8. 東谷山山頂遺跡

○弥生時代後期（欠山期）の台付甕・高杯の破片，炭化物が散布。

☞犬塚康博1984「志段味の遺跡レポート」『AICHI MUSEO NEWS』8月号。